

浜田漁港周辺エリア活性化計画（全体ビジョン）【案】

強み

- 浜田漁港は、県下唯一の特定第3種漁港として、沖合底曳網・まき網・定置網・一本釣りなど多様な漁業が展開される
- 沖合の好漁場により、四季折々の多種多様で豊富な水産物が水揚げされる
- 水産加工団地や重要港湾を有するほか、高速道への交通アクセス等が揃った港

課題

- 漁獲量の減少、魚価の低迷、漁業者及び小売り・水産加工等関連企業の所得の減少
- 市場施設の老朽化、衛生管理対応の遅れ、消費地ニーズへの対応、魚離れ・魚食普及活動
- 漁業者、水産加工業等の水産関係者の減少・高齢化・後継者不足
- 「しまねお魚センター」への来訪者の減少、観光分野との連携

第2次総合振興計画（前期基本計画）

施策大綱：「水産業の振興」、「観光・交流の推進」

浜田漁港周辺エリア活性化計画

将来ビジョン（将来目指す姿） 【計画期間】平成32年～平成37年（6年間）

安全・安心で、活力ある水産業が展開され、賑わいのある浜田漁港【案】

課題解決への対応方向 <取組方針と具体的な施策>

漁港・市場機能の強化

- 市場施設、設備等の整備
 - ・高度衛生管理型荷捌所の整備
 - ・高度衛生管理体制の構築（仲買売場等）
 - ・冷凍冷蔵庫整備
 - ・水産加工業の振興（HACCP対応の推進）
 - ・瀬戸ヶ島埋立地の活用
- 漁港の安全性の向上
 - ・施設の老朽化対策
 - ・災害への対応
 - ・交通網の整備による利便性の向上

集荷・販売力の強化

- 市場水揚げの維持・増大
 - ・地元漁船の存続対策
 - ・外来船の誘致
 - ・漁業資源の確保
 - ・担い手の確保
- 水産物の付加価値向上
 - ・浜田港産ブランドの拡大、発展
 - ・産地一次加工の検討
 - ・6次産業化の推進
- 水産物の販路拡大
 - ・PR活動、マーケティングの推進
 - ・流通機能の強化
 - ・海外市場への開拓

観光及び地域活性化の推進

- 賑わいのある集客施設の設置
 - ・（仮称）山陰浜田港公設市場※による活性化（現有施設の活用）
 - ※…しまねお魚センター買取後の仲買売場が移転する新たな施設
- 観光と連携した取組
 - ・水産資源を活用した取組（食や体験）
- 「みなとオアシス」による地域振興
 - ・浜田港一体となった産業振興、賑わい創出
- 食育・魚食普及活動の推進
 - ・学校給食等での食育の推進
 - ・継続的な水産イベント等による魚食普及活動

共通項目

- ・関係機関、団体等との連携協力体制の強化
- ・推進体制の整備
- ・成果指標（数値目標）の設定と進捗管理